

5月号

# ひかりっこ

平成30年5月1日  
卸町光の子保育園

## 5月行事予定

- 9日(水) 内科健診
- 13日(日) 菅生活動(田植え)
- 15日(火) 1歳児クラス懇談会
- 17日(木) 2歳児クラス懇談会
- 19日(土) 青葉まつり(4, 5歳児参加)
- 22日(火) 3歳児クラス懇談会
- 23日(水) 4歳児クラス懇談会

第1回目のクラス懇談会が行われます。時間は、全クラス13:30~15:00までです。送迎表に出欠確認の表を張り出しますので、記入をお願いします。

## 6月の行事予定

- 3日(日) 菅生(田畑準備)
- 6日(水) 消火避難訓練
- 23日(土) 午前: 保護者向け講演会  
午後からは職員会議の為、午前保育のご協力をお願いします。

### ~6月23日(土)の保護者向け講演会について~

この日は「ガンバの冒険」の作者でもある斎藤惇夫氏をお迎えし講演会を行ってまいります。昨年度も講演を行って頂きましたが、もっと多くの保護者の方に聴いていただきたいとの強い思いから、再度講演を行って頂くことになりました。前回参加していないご家庭の方は是非ご参加下さい。講演会中は、お子さんの保育を行います。是非ご夫婦での参加をお待ちしております。

10日(木)に予定していた歯科検診は、囑託医の先生の都合で6月7日(木)に変更となりました。

なお、**内科健診は欠席されま  
すと後日かやば小児科を受  
診して頂くこととなります  
ので、なるべく欠席の無いよ  
うにお願いします。**

昨年度から始まった菅生での田植えを今年度も行います。去年は、子ども達よりもお父さんお母さん達の方が泥の感触に楽しそうな歓声が聞こえてきていました!!今年度も沢山の参加をお待ちしています!!  
詳細や申込みは後日掲示しますので、そちらをご覧ください。

5月11日に大学の先生方、他園の保育士の方々が見学に来ます。また、毎週月曜日、東北文教大学の4年生高橋京香さんがボランティアに入っていますのでお知らせします。

桜が散り始めるとジューンベリーの花が満開。花びらが風に舞います。きらきら、げんきっこ、れんがのいえの仲間たちがストライダーを走らせています。4月に入園したれんがのいえのしずくちゃんも走らせながらこちらを振り向きま。きのいえの鳳之助くん、湧生くんは新車のダンプカー(玩具)に落葉を積んで「ほら、集めて来たよ」と冬の間落葉掃きを手伝ったのを思い出、残っている葉を集めたのでしょう。連日縄跳びをしているわらのいえさん達、わらべうたを歌いながら一人跳び、数人で楽しんでいる8の字跳び、失敗しながらも楽しんでいる様子が見られます。その合間を縫うように巧みにボールを蹴っているサッカー好きの仲間達、ボールが他の子に当たらないようにとの気配りも見られます。砂・土・水の砂場は何時も異年齢の子ども達で賑わっています。穴を掘ったり、水路を造ったり、泥んこお料理をしたりと無形の物から自分の思いを表現する楽しさがここにあります。思考力を育む大事な場所ですね。

びよびよクラスの小さい仲間を迎えてひと月になろうとしています。保育士に抱っこされおんぶされてホールや園庭を散策する姿が日々続きます。そんな中、ほっとする場面がびよびよの日記にありました。年長児のひなたちゃんと5月生まれの瑠乃ちゃんの間わり遊びの様子です。一ひなたちゃんが自分の頭、顔に布をかけ「ばあ〜」と言いながら布を外しないいいないばあ遊びを始める。保育士に抱っこされひなたの行動をじいっと見つめる瑠乃。瑠乃の反応に気付いたのか今度は瑠乃の頭に布をかけ直に「ばあ!」と言って外し瑠乃の顔を覗き込むひなた。瑠乃がにこっと笑顔を見せるのを確認し布をかけては外し…を繰り返して遊ぶ。瑠乃は楽しさからだんだんと声を出して笑い、保育士の方を振り返るので「楽しいねー」と共感するように言葉を添えると、再びひなたの方に顔を向け(またやってほしい)という気持ちを伝えようとしているようだったとあります。年長児との間わりの様子は日々見られます。その中で思いやりや優しさが育つのでしょうか。「遊び」「他者との間わり」「テーブルを共にする食事(生活)の楽しさ」は保育園での学びです。

5月には里山での活動が盛んになります。田植えも始まります。お父さん、お母さんの活動する姿を子どもたちは見ます。

~副園長 千葉 靖子~

### ~青葉祭りについて~

5月19日(土)は青葉祭りです。4, 5歳児および3歳児の希望者で参加します。また、今年は年長児保護者を中心とした保護者の方もお囃子や踊りで一緒に参加してくれます。3歳未満児用の衣装も保育園で準備していますので、希望の方は保育士までお声がけ下さい。衣装を着て、沿道でお兄ちゃんお姉ちゃんの応援に是非来て下さい!!

尚、この日は職員も参加する為保育の協力日になっています。保育が必要なご家庭は事務室までご相談下さい。青葉祭りについてのタイムスケジュール等は後日お便りで配布しますので、そちらをご覧ください。

4月14日に行われた天野秀昭氏の講演会。たくさんの感想が寄せられましたので、一部ご紹介します！！



入園して1か月。新入園児も少しずつ保育園生活に慣れ、笑顔がたくさん見られるようになってきました！！

- まだまだ手がかかる小さくかわいい我が子にも、その子自身の唯一無二の世界があるということを忘れないようにしたいと思います。我が子のことになると、ついつい余計な手や口を出してしまいがちですが、子どもが持っている「自分を成長させる力」を信じたいと思いました。
- 遊びの中で育つこと（遊育）の大切さを感じました。また、子どもの「やってみたい」という考えもありうまく子供の意欲に付き合ってもらえるか？？少し心配でもあります。子どもの「自分を成長させる力」を信じてみようと思います。園でもたくさんの遊びをしながらたくさんの事を身に付けてほしいです。
- 天野さんの話を聞き、子育ては案外おおざっぱで良いのだなと感じました。一人目ということもあり、おもちゃをアルコールで消毒したり、虫歯予防の為大人が口をつけた食べ物やスプーンなどは子どもの口に触れさせないようにしていました。ですが、テーブルに落ちた食べ物などはあげても大丈夫。その位が丁度良いと聞いてそこまで神経質にならなくてもいいかなと思えました。また、テレビやスマホで子どもの気をそらすのではなく、親の私がちゃんと向き合っ接しなければと反省させられました。
- 幼児期の「遊育」の大切さや転ぶ事は、怪我をしない為の訓練といった子育てをする上でとても勉強になる話を聞いた。また、親の望むことをしてくれた時だけ褒めるのはよくない！という話でもはっとさせられたので、自分の言動を見直す良い機会だった。
- 「ダメって言ったことはほとんどないかな」とご自身の子育てについて話をされていたのが印象的でした。先日、保育園から帰った息子が「もう泥遊びしない」と言いました。「どうして？」と聞くと「だってお母さん泥遊びイヤなんでしょ。お洗濯いっぱいだから」と言われ、はっとしました。きっと嫌そうに洗濯をしていたのだと思います。「ダメだよ」「やめてね」という言葉を何度も口にする毎日。「にこっとしてよー」と息子に言われ、目を三角にしていたり、眉間にシワを寄せている自分に気付くこともあります。子どもがどうなりたいか、どうしたいか、ただ見守ること。親としての役割は、それで十分なのではないかと思いました。まずは思う存分泥遊びが出来るよう、いつもよりも多く着替えをロッカーに用意しています。

